

JR津田沼駅南口開発の進展に伴う児童増加対応について 地域住民対象説明会 議事録（要約）	
開催日時	平成25年10月13日（日） 15:00～16:30
場 所	谷津公民館
出席者	[市教育委員会] 市瀬学校教育部参事、小野寺教育総務課長、島本学校教育部主幹

島本主幹 （JR津田沼駅南口開発の進展に伴う児童増加対応について、資料に基づいて説明）

【質疑応答】

質問者 教育委員会としては最終的にはどうしたいのか。学校をつくりかえるのか、学区を変更したいのか、学区を変更するならばどのプランが一番いいと思っているのか教えてほしい。

回答者 現段階では、どうしたいと考えているということではなく、今は御意見を聞くという形で考えている。

次の段階の中では、教育委員会の考え方として、そういう形で集約、整理をした形で御説明、御意見をいただくというように考えている。

今の段階では、全ての案、これらについてはフラットな形で捉えているということである。

質問者 冒頭で、このような状況に陥っている原因としては、教育委員会の社会環境の変化への対応不足ということだったけれども、どういう社会環境の変化の対応不足だと思っているのか。

あと、世の中の流れは少子化というところは変わっていないと私は思っていて、対応不足ではなくて、認識不足というか、調査不足だと感じている。

回答者 今の点については、平成16年以降の社会経済情勢として、リーマンショック、これによってマンションの価格帯も下がる傾向であったりだとか、住宅ローン減税の拡充等によって、住宅が購入しやすい環境があるというようなことを捉まえた中で、推計を修正するような対応をしてこれなかったことが要因になっていると受けとめている。

質問者 では、奏の杜のマンション世帯の中で、子持ち世帯が想定よりも増えた、それが想定できなかったということか。かなり少なく見込んでいたのか。

回答者 そういうことになる。

質問者 そこが甘いところである。リーマンショックでそんなに上がったのか。まあそれは自分の感想なので、あれだが。

要は、推計が狂ったがゆえに、このような状況に陥っていると。それが修正された結果が、きっかけが、アンケートだったんだよね。そのアンケートを踏まえて、今、建っている八百幾つかのマンションと、モリシアの前のマンションの推計を修正して、このような結果になっているということか。

回答者 アンケートをとらせていただいた結果として、やはり比較的若い世代の方が購入をされて居住しているということと、今後、就学をされるお子様のほうが多いというような状況での推計である。

それを今後の開発、2,800世帯の計画人口の中で、同じような傾向として捉えた場合の結果ということで受けとめていただければと思う。

なお、750戸のタワーマンションについては、専門業者の委託をした後に判ったことなので、推計の結果という表の、谷津小最大56学級という中には入っていない。56学級に対応するために、タワーマンションについては、現状からすれば谷津小では受け入れられないというような状況が見えるので、その辺については、既にデベロッパーにもお伝えをしており、総合的に見きわめた中で、今、対策を講じる案を検討しているが、その区割りの変更の中にはタワーマンションも含めた形で推計を検証しているので、その辺から対応を図っていくということで考えている。

質問者 わかった。

私が感じているのは、推計が結構ポイントになるわけだよね。委託している業者は1社か。

回答者 1社である。

質問者 なぜ、その推計が正しいと思われるか。

回答者 正しいというか、基本構想・基本計画を策定するというような中で、平成23年度に市の人口推計を行っている。そういう中で、各地域の人口の動静、こういったものが捉えられているので、今回は児童の増加要素としては、アンケートの傾向も含めて勘案し、その人口推計のデータも活用した中で捉える必要があるということからその業者1社で行ったということである。

質問者 それで十分だと思いか。私はすごく不安なのだが。

回答者 あくまでも推計ということなので、このとおり正確に推移するということは恐らくないだろうと、それがまた大きく増加でずれる、あるいは低くずれるということもあるのであろうというようには思っている。そういう中で、今回の増加という部分を中位的な見方の中で、基本的にはこのぐらいということでは捉まえている。

ただ、注意しなければならないのは、そのぶれ方だと考えている。こういったものには、毎年、どのくらいの人口が張りついてきている、そこにお子様がどのくらいいるというようにデータをとる中で、逐次修正をしていくというようなことが必要になってくるというようには考えている。

ただ、一応推計という中で、数値的には出しているから、これをもとに対策ということは今考えているものである。

質問者 推計という数字の意味合いは、今おっしゃっていただいたとおりと私も理解できるが、1回出た数字を前提に全ての事を検討されていると思うので、教室の数が間に合うか間に合わないかという議論も、この推計ありきで進んでいると思う。なので、私としては、少なくとももう1社やるべきだと思う。いろんな検討をする上での、その土台となっているので。

推計のその数字をみんな見て議論するわけで、そういう意味で、もう半年以上経っていると思うけれども、今からでも推計をとるべきだと思う。

次に、保護者の方から、学区変更案も検討すべきだという声が上がったから、こうなっているという説明があったけれども、私としては教育委員会の見込み違い、いわば教育委員会の瑕疵でこういう状況になっていると思っているので、学区変更という住民の不都合が発生するような案を検討していることに対して、私はすごい憤りを感じている。

まずは、市として、学区変更しないで、市の予算、試算の中でどう解決できるかという案は考えるべきだと思う。にもかかわらず、今日の説明の中では、初めに教育委員会の案を出したという。その後、保護者から言

われて、学区変更を検討しろと言われたので、いろんな案をみんなに説明しているというだけのような気がしていて、教育委員会として、市として、どう汗をかこうとしているのか。

回答者　ごもっともな御意見であると受けとめる。教育委員会としても、今回の事態、これを子供さんの教育環境ということ考えたときに、どうしたらいいのかということはさまざまな検討、考えた経過がある。その中で、これまでにお話をしている対策案が最終的には、現状の中では可能な対応なのではないかというところでお示しをさせていただいている。

ただ、決して我々の推計の修正によって皆様に負担というか、そういったものを押しつけるとか、そういうことではなくて、実態としてそういうふうを受け取られてしまうということはあるのだろうと思うが、限りなく今回の事態として、皆様にお話を伺うというような中で、解決を図っていくかというように考えている。

1点、新設校であるとかそういったことについては、新設校といったときにはそれ相応の用地が必要になる。その土地については、現況の中では、その開発エリアも現状更地のところはあるが、区画整理は地権者さんがそれぞれの用地を持ち寄って設立されているもので、今後、それぞれの地権者さんの土地の整備が整った後に、その土地利用を図っていくこと、それと当時の推計という中から、学校が一つ必要になるという見込みをしていなかったために、この中に学校施設用地というものが確保されていないことから、現状可能な、対応が可能な敷地としては、現状の市の学校施設といったところで対応を検討しなければならない状況がある。

もう1点は、この開発エリアの中に近隣公園の予定地というものもある。ちょうどここに谷津小学校があって、開発エリアはこういう区域だが、ここに公園予定地として2万㎡程度ある。そこに学校をというような御意見もいただいている。ただ、そこについては、都市計画決定において公園用地として位置づけられている。今回の開発に当たっては、一定の緑化面積というようなことから都市計画決定がなされていて、そこに構造物という部分については建てられないという現状であり、区画整理事業としても公園以外には利用できないこととなっている。

このため、今進めているのは、仮に谷津小学校のグラウンドとしてこの用地を借りること、そういったことがどのようにできるのか、できないのかというようなこと。

こういったものも含めて、新設校ということについても整理をして、明確な答えを皆様に出すために、引き続き関係課と協議を進めているところ

である。

質問者 私を知りたかったのはそっちで、順番が違うと思う。まず、そっちを検討すべきだと思っていて、土地開発の計画だとか、構造物が建てられないとか、ルールはあるのだろうけど、それを変えればいいと思うが。教育委員会の人頭を下げて、こういう事態を招いたのだから。

学区の議論を幾らしたって、それは誰かが被害をこうむるわけで、認識はされていると思うけど、意見を聞いたって、全会一致なんかあり得ないのではないか。だから、もうちょっと教育委員会で、先ほどどうしたいかという質問があったけれども、もうちょっと考えを持ってほしい。

先ほど学習環境との発言があったが、今の案って子供の命にかかわる。距離に対して懸念があるのに対し、スクールバスも考えていると言っていたけれど、スクールバスとセットじゃないといけない、とは言い切らないではないか。教育委員会として守ることはここだというのは、少なくとももっと考えを持って検討を進めてほしいと思っているし、用地の話、ほかの利用のところもあったけれども、そちらの進捗をもっと教えていただきたい。何でそれがだめなのか、どこまで教育委員会として出来るのか、それこそ市民を巻き込んで、関係省庁が必要であれば言うべきだと思っている。そういう動き方に変えていただきたい。

回答者 御意見として受けとめ、併せて、その辺の考え方と、その公園用地の使い勝手という部分については、もうしばらくお時間をいただいて、また再びこういう説明をする機会には、資料として整えて御説明できるようにしたいと考えている。

質問者 ぜひお願いしたい。

12月までに決めなきゃいけないとおっしゃっていたが、それって、八百幾つのマンションが建つときに学校を変えるというところから逆算してだと思っただけでも、その変える時期を決めたのも推計をもとにしていると思う。なので、私としては、もう1社、どこかで推計をとって、その推計は正しいのかというのを、いま一度、教育委員会として認識をした上で、本当に2年後に変えなきゃいけないのかというところから見直したほうが、私はいいと思う。じゃないと、間に合わないと思う。

用地の転用についての検討をしてから、じゃ、学校を変えるのか、変えないのかという議論をして、最終的に何をするか、あと2カ月しかない。

ここに人達だって、きょう初めて聞いた人もいる。1月からプロジ

エクトは進んでいると思うけども、意見を聞いていただける時期が、もう決める2カ月前。2カ月前に聞いた我々としては、本当に2カ月で議論は煮詰まるのかという懸念がある。今、用地転用の話も全然まだ進んでいないよね。

なのに、2カ月後に決めるというところもちょっと疑問。

2カ月後に決めるというのは、もう絶対なのか。

回答者 決めるといっても、最終的な決定ということではなく、方向性を決めたいというところである。

質問者 そこは本当に見直していただきたい。納得させられるのか。

回答者 その辺については持ち帰って、検討させていただきたいと思う。

質問者 私のほうから3点。

まず、1点目の意見は、本日の説明会に関して周知はどのようにされているのか。私はマンションに住んでいるが、マンションの掲示板に張ってあるのを見て、本日来ている。習志野市のホームページ並びに教育委員会のホームページを見たが、3日間か4日間、平日も含めて開催されるが、この説明会がある旨、全く書かれていない。

ホームページを見ている方はやはり多いと思う。戸建ての方とかがどのように今日の会を知ったのかは判らないが、回覧板とか掲示のほかに、そういうふうにホームページに出すということとかはできないものか。こちらからすると、何か隠しているように見えてしまう。該当する地域の人だけにそれを配布してやっちゃうんじゃないかなというふうに思うのだが。

回答者 大変申しわけない。周知は、谷津地域の町会を経由した回覧という形でお願いをただけで、ホームページへ掲出はしていない。また、その周知をただけで、内容がわからないというような御意見もある。そういったことから、本日、ホームページのほうへ掲出するというようなことを、この会終了後、させていただこうというように考えている。

そういった点では、事後の形で大変申しわけなかったというように感じている。

質問者 2点目だが、谷津幼稚園の移転を前提とした案が結構あったが、その谷津幼稚園の移転というのはいつごろになるのか。

回答者 今回示した一番早い移転案では、平成28年度ということになる。あとは、仮に、通学区域の変更としたときには、場合によってはもう少し後というような展開ということになる。

質問者 あと、うちの娘の例を出して申しわけないが、28年度に移転をするということになると、ちょうど年長さんに当たる年齢になる。うちの子は、来年、3年保育であれば年少になる年齢なので、ちょうど今、幼稚園を選んでいる段階である。その中には、2年保育の谷津幼稚園も検討はしている。なので、こういう可能性があるということを書いていただかないと、じゃ、3年保育、2年保育迷って、やっぱり2年保育、谷津幼稚園にしよう。しかし、ホームページにも何も書いていないし、情報を知らない。いざ、谷津幼稚園に通っていたら、年長になったときに向山に移転してくださいと言われたら嫌。その可能性があるのであれば、それも含めて幼稚園を選んでいきたいのだけれども、そういうことを、市の広報の「園児募集」という中などでも、そういうことも含めて掲載していただければと思う。

回答者 その3年保育という点から幼稚園を選ぶというような方々、そのほかにも不安というか、決め切れないというような展開になっているということについて、深くおわびを申し上げたい。

ただ、園児募集に関しては、「広報習志野」の園児募集の中では、囲みの中に、谷津幼稚園については移転の可能性という記述は、確か、してあったのではないかとこのように認識している。

質問者 それは私が知らなかっただけなので、申しわけない。

学区の変更について、少し津田沼小学校の話が出たかと思うが、今の学区の案には、津田沼小学校の話は全く入ってなかった。確かに、何年か後に津田沼小も余裕がなくなるという話があったが、仮に、津田沼小学校が、ここでパンクをしてしまったらどうするのかと、またこういう事態になるのかという懸念がある。

なので、津田沼小は何年後に余裕がなくなる予定だから今回の案には入れないということではなくて、津田沼小も含め、習志野市全域で私は思うが、習志野市全体で社会情勢が変わったということで、学区を全部見直すという案とかは出ないのか。小学校学区のホームページで、地図に線が引いてあって、ここから何小、何小というのを見て、弾力化地区というのが何力所かあったと思う。多分、それは国道があったり、線路があったり

で、本当はこっちの小学校だけれども、こっちに通ってもいいですよみたいな地区が何個かあったと思うが。

そういうことも含めて、根底に習志野市の子供たちということを考えてときに、今は、この習志野市の谷津地区だけで考えているかと思うが、全体として見て、子供たちの安全とか、環境とかを考えて、どの地区の子たちがどの学校に通うのが本当にふさわしいのか、その学区の線というのをまず1回取り払って、では、習志野市という地図を見たときにどうなるのかということを考えていただければと思っている。

回答者 今の御質問、御意見についても、ごもっともな御意見だと思っている。市としてもこういう事態が起きたということから、全市的な対応というか、そういったことが必要になっているというように考えている。

そういう中では、今の学校の施設の規模に対応した中で、地域性のこともあると思うが、それぞれ習志野市としてどのくらいの学級数が学校としては適正なのかというルールが必要だということを考えている。

そのルールづくりについては、地域の方々を入れた形で組織をつくって、近隣自治体では2年程度かけてやっている。そういう中で、我々のほうもそういったルールがないということから、それには取り組まなければならないというように考えている。

ただ、今回のこの児童増加という部分との兼ね合いの中では、先行してこちらについてはちょっと特化して、今、取りかかっているということであって、いずれにせよ、そういった全市的な対応についても取り組まなければならないというように考えている。

質問者 では、その全市的な対応というのは、例えばここが今、大急ぎでやらなければいけないということで納得はできるが、津田沼小がパンクというか、マックスになる前提があるから、今、入れていないというのはおかしいと思う。向山小の隣の学区であるし、津田沼駅南口の場所である。私は、引っ越してきて日が浅いので、習志野市というのはまだよくわからない部分はあるけれども、袖ヶ浦西小の話が出てくるのであれば、津田沼小も入れるべきではないかと思うが、いかがか。

回答者 津田沼小が建てかえたばかりだから増築ということを想定できないとかではなくて、津田沼小の教室としては、そのマックスに来る推計結果だということとあわせて、今、国のほうの動きとして、国家公務員宿舎の削減というような計画がなされている中で、津田沼地域の中のJR線の南側の



国家公務員宿舎、こういった部分が削減される計画に位置づけられていて、その後、どのような利用になるのかというようなことも勘案しなければならないというのが一つある。

そういう中で、公務員宿舎跡地の活用がマンション建設ということになったときには津田沼の学区であることから、どのようになるかというようなこともあり、基本的には、現状の推計の中で余裕が見込まれないという前提となっている。

質問者 わかりましたとはいいにくいけれども、今度、宿舎の話がちょっと広がって出てきたが、そういうことを考えているのであればなおさら、その先の学区も、結局そうすると全市的になるかと思うので、本当に子供たちのことを考えてやっていただければと思う。

質問者 先ほど質問して、ちょっとこの部分がまだ終わっていないが、この問題、この説明会が終わった後に、誰と誰が議論されて、いつまでに誰が御決断されるのか。

10月の今週に入って、先週から今週にかけて、慌てて説明会が多数開催されているけれども、これで12月に決定をするという、方向づけをするということであれば、この説明会の結果をどういうふうに、今の方の御質問にあわせて、検討を練って、それを皆さん地域の方々に説明をして、その結果を発表していくのか、そのスケジュールをあわせて一緒に教えていただきたい。

回答者 スケジュールという部分では、2回目の説明会を、一定の方向性としてはこのような方向であるというような説明を11月下旬頃からと考えており、日程を今、調整をしている。

それと、この説明会を受けて、その後に誰と誰が協議をして、どのように決定をしていくかという点について、基本的には誰と誰という点でいけば、我々教育委員会の中で、教育長を含め協議をさせていただくということが一つ。

それと、これはまちづくりという点からの出発点でもあるので、市長事務部局との協議をさせていただくということが一つ。あわせて、その段階では教育委員会の方針・考え方を持って協議を行う。その考え方がまとまれば、また2回目の説明会を経て、その内容で、通学区域を変更するにせよ、しないにせよ、通学区域審議会への諮問というような段階を経て、最終的には教育委員会が答申を受けて、教育委員会が決定していくと考えて

いる。

質問者 ということは、審議会に諮問をする前には、教育委員会の中の責任者の方と、都市開発側の責任者の方、お2人との合意によって決定されるという認識か。

回答者 審議会の諮問については、基本的には教育委員会で一定の方向性を持ち、それをまちづくりという点から、市長を含めた市長事務局との協議をし、最終的には諮問をしていくというようなことである。

質問者 答申を出すのはどこか。

回答者 答申を出すのは、教育委員会に対して通学区域審議会が出す。通学区域審議会というのは教育委員会の諮問機関で、市議会議員の方が2名、小・中学校長2名、習志野高等学校長1名、それと市のPTA連絡協議会の代表者の方が4名、あとは市の企画政策部長1名の計10名で構成されている。

質問者 今回の問題に関する最終的な結論は、教育委員会、その10名の責任者の方々が決めるということか。

回答者 通学区域審議会は10名で構成されているということで、そこから答申を受けて、教育委員会が最終的に決定をするということである。

質問者 この中で、一番問題に対して責任者、責任を負っていて、決断をする人は誰か。

回答者 教育委員会である。

質問者 教育委員会の誰か。

回答者 教育委員会というのは、皆様にすごく判りづらい組織だと思うが、私たちは教育委員会の事務局職員であり、教育長をトップとする事務方の職員である。その教育長というのは、教育委員会議の教育委員さん5名いる中の1名である。

その意思決定というのは、その教育委員5名から成る一つの合議体とい

う形になっているので、誰がというと、教育委員会のその合議体が最終的な決定をするというような形になる。そこの教育委員会から、教育委員会の諮問機関である通学区域審議会に、この通学区域のあり方について、諮問をして、答申をいただくというような形の流れになる。

それで、どのような形で、誰と誰が協議をしてということについては、まずは教育委員さんにきちんとお伝えをして御意見をいただく、あるいは市長のほうにもきちんとお話をするというところでは、常に協議をしているということではある。

質問者 よくわからない。

このプロジェクトが責任を持っているという認識でいいのか。この問題に対して、解決する責任は誰にあるのか。

回答者 学校教育部が対策案を皆様に説明し、先ほども申し上げたが、教育委員会のその合議体が最終的な責任をとることになる。

質問者 学校教育部というところが責任を持たれる。

回答者 今、皆様の御意見を聞きながら、対策案を講じているということであれば、学校教育部と考えていただいてもよろしいかと思えます。

質問者 今回の説明会のお知らせについて、町会から回覧が回ってきたのが今朝である。

どういう手違いがあったのかわからないが、土日の開催というのが今日で最後ということで、あとは平日で、火、木の開催だったと思う。ちょっとこういう状況なので、土日でしか出られない方ってたくさんいると思うので、再開催ということをお検討いただきたいというのが一つの意見。

それから、第一中学校の中に併設小学校、あるいは高学年を分離して授業を行うという案があったが、これはもう現実かというと、そういう敷地が実際に一中の中にあるのかどうかということが1点。

それから、もう一つ、高学年分離案について、私の息子が小学校1年生で、今、谷津小に通っているのだが、ちょうどこの案でいくと、小学校6年生のときに高学年分離を行った場合には恐らく対象になってくる。この高学年分離案を採用するに当たっては、千葉市の新宿小学校を参考にされたということだが、実際にまだ分離はされていないことから、教育上の影響については、現在全く参考に出来ない状況だと思う。その教育上の影響

について、今後どういうふうに評価をされていくおつもりなのか、何を参考にして検討していくおつもりなのかというところを2点、お伺いしたい。

回答者 今回の説明会の周知については、大変申しわけない。

第一中学校の校舎の増設をする敷地について、我々としては、今あるグラウンドは割愛したくないという考え方があるが、場合によっては、グラウンドの一部を割愛する可能性もないわけではない。

ただ、グラウンドを割愛しない場合には、今、体育館の横のプール、そしてテニスコートの敷地のところであれば、この校舎棟は建つのでないかという考えており、その際には、プールあるいはテニスコート、これらをどのように担保していくかというようなこともあわせて課題となってくる。

次に、2点目の、その分離運営の実態の中で、事例があるわけではないので、その中で教育上の課題というものもどのように今後捉えていくのかということについては、確かに実例がないという中では、千葉市では、今、来年度に向けて学校での協議、あるいは教育委員会での協議というような形で、グループワーキングで一定の課題解決策というようなカリキュラムあるいは集会、そういった対応で検討をしている。

そのため、その辺の情報も収集する中で、習志野市は習志野市としてどのように対処していくかということは別の角度で考えていくように考えている。

質問者 今のお話だと、分離の影響に関してはこれからの課題で、12月までの方向づけという意味では、余り重要な情報は得られないということになると思うが、そういう理解でよろしいか。

回答者 課題として上げようとすれば上げられなくはないと思っている。それは、子供たちが行き来をするのか、あるいは教員の先生方が行き来をするのかというような点であったりとか、あとは、日課表として、例えば全校集会をやる日については、どちらの小学校で行うかというような形を捉まえたときに、朝の時間帯あるいは登校する先、これらを、例えば中学校へ小学校の全員を集めて集会をするといったときには、登校自体を小学校の1年生から4年生が第一中学校へ登校をしてというような展開であるとか、そういったさまざまな課題が出てくるだろうと考えている。

あわせて、グラウンド、体育館という部分でも、中学校との共用、特別教室の共用というようなこと、もろもろ出てくるだろうと考えている。

質問者 その辺も含めて、非常に評価が難しいというか、課題がいろいろ多過ぎて、何らかの解決策を持って、2カ月の間に方向性を出すというのは、非常に難しいと思うが、その辺は、何らかその解決の見込みというか、何か今現在、持っているのか。

回答者 今の段階で、何かの解決策ということを明確にお答え出来るという段階ではないというように捉えており、現時点では持っていないということで受けとめていただければと思う。

質問者 今いただいた案で、4番か5番か、幾つか案があったと思うが、あれは見た感じ、生徒数の平準化への第1の観点として考えられた案だと思うが、この認識で良いか。だとすると、目下の観点、これは私が触れた安全性だとか、透明性だとか、そういった面でメリット、デメリットみたいなものもある程度評価される内容というのは、現状お持ちなのか。それとも、まだ何も検討していない状況なのか。

回答者 確かに、その生徒数の平準化という観点も入っている。そういう中からスポット的な対応といったときに、その通学上の距離、安全性という点で評価をしたときには、恐らく低評価ということにはなってしまう。そこで、御意見の中で、スクールバスというような案が、實際上スクールバスを出してまで、そこに通わせるかというような検討をする必要はあるが、そういったことを含めて評価をさせていただく。

それと、安全性という部分では、スポット的なことでいえば、教育上の観点で、地域との関係性が希薄になってしまう。それなら何でそういう案をつくっているのかと言われてしまうが、学校教育という部分でいえば、地域とのかかわりがなくなってしまうと立ち行かなくなるというような懸念もある。そういう中から、その地域とのかかわりの中ではどのように対応ができるのか、できないのかというところは評価しなければならないだろうと。

あわせて、スポット的なことでいえば、谷津南にスポット的に行く、あるいは袖ヶ浦西にスポット的に行くといったときに、その変更先となったほうも地域性が全くない関係が生まれるので、そこで保護者同士がうまく交流できるのか、あるいは子供たちがうまく交流できるのかというのは大いに懸念されることであろうという認識はあるが、それらを網羅する中で評価をさせていただきたいと考えている。

質問者 端的にいうと、やっていないということによろしいか、現状。

回答者 現状はまだやっていない。

質問者 それは12月末の方向づけには必要のない部分という認識でよいか。今、主体者ともある程度許可はしていて、きょうの資料に載せ切れなかっただけという答えを期待していたのだが、ゼロ回答と言われたので、もし、それが12月までの方向性づけの中身にかかわるとすると、今、御説明いただいた内容は、我々この1時間半ここで無駄にしたようなものだと思う。今日はこの案をつくった…みたいな…。

回答者 そういった意味では、今、PTAから入って、全体の保護者ということの中で、推計の修正、そして現状対策としてはこういうこと等、まずは現状の説明をさせていただいているということを受けとめていただければと思う。

その上で、次回の段階では、一定の方向性という中で、安全対策であればこういう考え方ですというようなことを含めてお示しをした中で、御意見を伺うというような対応等を考えているので、そういった意味で、大変申しわけないが、本日の中では現状の説明ということの中で受けとめていただければと思う。

質問者 では、次回の説明までには何らかの形で定量的なこととかは期待できるとのことで理解しておく。

もう一つ、本日のこの資料というのは、どこかで公開される予定はあるのか。

回答者 それについては、本日、この後、作業をして、公開をさせていただくというふうに考えている。

質問者 6丁目の昔から住んでいる者だが。

小学校への説明会から今日まで、いろいろずっと流れを見てきて、住民の要望がそちらに全く反映されていないというか、大体、流れの中で新しい小学校を建てれば全てのことが解決すると、皆さん、いろんな方とお話ししていて、そういう意見が多い。こちらも、もちろんそれは把握しておられると思うが、パズルのように学区変更、あっちこっちとか、袖西とか、

あちこちの学校を巻き込んでやられても解決できない。新しい学校を建てるという方向で進めていただけないか。

それから、住民の意見が全然反映されていない、幾つかの案がそこに上げられているけれども、新しい学校を建てるという案も一つではなくて、この中では、パズルのように、あっちこっちやるという、そういう案しかない。その中で、そちらだけで決定して、それを諮問委員会だか教育委員会だかわからないが、そういうところで決定して、じゃ、私たちに発表しますというもおかしな話だと思う。私たちの意見をちゃんと本当に集約して、取り上げてくださっているのか。その中に私たちの意見はないのか。

上から目線でそちらで決定するというのではなくて、その中に、その話し合いをする中に私たちの、住民の意見を代表してくださる方というのは入れられないのか。

回答者 「新しい学校」という御意見もいただいているが、現状の中ではなかなか難しいと。ただ、難しいというだけではわからないので、その辺を詳しく、なぜ、何ゆえに難しいのかということは説明してくださいということは求められている。それは、次の説明の際にはさせていただこうというように考えている。

また、住民を入れた組織という展開については、現段階の中では、この関係の保護者、地域への説明というものを聞く中で反映あるいは集約、そういったことをして、一定程度よりよいものにまとめていきたいと考えているので、そういう組織をつくってということはこの問題に関しては考えてはいない。

質問者 では、昨日、そちらの方が、お名前は忘れたが、説明会のときに、新しい学校を建てるという方向で検討してみると発言したではないか。そしたら、皆さん拍手をもらったではないか。

回答者 恐らく、私、そういう発言はしていないと……

質問者 違う。

回答者 今、担当のほうからも話があったと思うが、先ほどより、もっと進んだ展開の話を聞きたかったという御意見が多くある。例えば、交通安全確保ということでも、どのように安全確保をしてこういう意見に至ったのかと

いうことを期待されて聞いていたと思う。やはり私どものスピード感のなさというのは、皆さんすごく歯がゆく感じているのだろうというふうに、それは重々反省をしているところではある。

9月21日に谷津小学校の全体説明会をさせていただいて、同じような説明会を10月22日までの間に、今度は地域の回覧をさせていただいた中で、皆さんに説明をする機会をといてところで、こういった機会を設けさせていただいた。

したがって、9月21日に説明したものからは発展性はないが、まず、今検討している経過を皆さんに御説明をして、御意見をいただく、その中には、やはり同じような意見は出てくる。なぜ、学校を建てられないのということも聞いている。向山小学校に学区の変更と言ったときにも、どのように子供たちの交通安全、踏み切りの部分についてどうやって解消されるのかと、やはり同じような意見をいただいている。

そういった意見をしっかりと受けとめながら、先ほども担当から申し上げているが、この5つの案ありきではなくて、5つの案のもしかしたら変形版が出てくるかもしれないが、評価軸、アンケートの中にも書かせていただいている、評価項目の設定をして、一定の評価を加えて、改めて皆さんに御提示をしていこうというところで、まずはその途中過程として、今考えているところを皆さんに御説明をさせていただいたということで、御理解いただければと思っはいる。

それと、昨日の中で、学校建設という部分については、建てるということではなくて、建てられるのか、建てられないのか、建てられないんだとしたら、なぜ建てられないのかということをしかりと皆様にお伝えをしていかなければならないということである。

質問者 これらの各案について、昨日も今日もそうだが、では、次回の説明会のときに言うと言っているけれども、次回っていつなのか。

回答者 11月末から12月上旬というところでお伝えをしている。

やはり市民の方に御説明し、たくさんの御意見をいただいている。こういった御意見をどのような形で集約をしてというところで、日々頭を悩ませている。それは当たり前の仕事だと言われれば当然のことだと思うが、11月末から12月上旬にかけて、改めて御説明をする機会を設けようと考えている。

先ほど、この前の説明会の中でも、やはり民間企業だとすると、いつ、何月何日に、何をやるのか、それを提示するのが民間企業の仕事の仕方だ



と厳しい御指摘もった。今、例えば12月の何日に説明会を行うというところは、正直申し上げて、言える状況にはない。今、こういった御意見をお聞きして、11月下旬から12月にかけて、しっかりとまとめたものを改めて皆さんに御提示をさせていただきたいというふうに思っている。

質問者　もちろん、ホームページでも案内するのか。

回答者　ホームページでも御案内させていただく。この説明会を開催するに当たっても、正直申し上げて9月30日の日に連合町会長に御了解をいただいて、各町会の回覧をさせていただいたという経過がある。皆さんのところに1日でどんどん回っていくとは正直難しかったのだろうと思う。したがって、掲示板で初めて知った、あるいは今日知ったという実態はあったのかもしれない。御意見いただく中で、やはりホームページにきちんと掲載をという御意見をいただいたので、その辺についてはホームページに掲載をさせていただくなり、今日の資料についてもホームページに掲載をするというお約束をしたので、その対応を図っていきたい。

質問者　ホームページに載せるということは十分わかったが、それだけではなくて、例えば公民館だとか、きらっ子ルームだとか、そういう子育てしている母親ってホームページを見る時間もない。なので、そういう実際に手にとって、時間があるときに見られるような、そんな環境をつくってほしいので、ぜひ、きらっ子ルームと、あと、子供センターや公民館などにこの資料を置いてほしいのだが、その要望はいかがか。

回答者　資料をということか。

質問者　共通認識として、この話を全く知らない人も多い。うちの子が小学校1年生と2歳とゼロ歳である。うちの場合は、小学生の子がいるおかげでいろいろ情報が入ってくるが、ゼロ歳と2歳だけじゃ、はっきり言って情報というと、回覧板のみである。最近、9月、10月、下の子2人連れて、きらっ子ルームに何度も足を運んだが、お母さん同士の中で話をすると、当事者の赤ちゃんを育てている保護者が、全くこの話を知らない。知らせていないからかもしれないが。そういう方たちにも共通認識として意見が言えるように、もちろん資料と、あと、公民館でこういう説明会をやるというものを、ホームページに載せるのであれば、それと同じ内容のものを全部置いていただきたい。

回答者 資料のほうも置かせていただきたいと思います。

質問者 それはいつか。置くだけだったら、火曜日はお休みなので、水曜日のきらっ子からもう置けると思うが。

回答者 資料のほう、印刷をして、置くようにする。

質問者 私、5丁目に住んでいて、子供2人が谷津小と一中卒業である。孫も、今、谷津小と一中を出ているのだけれども、ここに谷津小学校児童増加についてという、大変興味があるので、お話を伺いたいと思って、ずっと聞かせていただいて、最後のほうに、その公園が何とか新しく何かの方法でできるというようなお話が出たので、いろいろ検討、子供たちの学校がばらばらになったり、谷津幼稚園が向山とか、非常に大変なことだと思う。

私が一つ思ったのは、その公園が可能であれば、谷津幼稚園の園児がそう遠くないので、その奏の杜ですね、そこで幼稚園ができれば今の校舎は何とか考えて、その中で子供たちが、高学年が一中に行ったりとか、ばらばらになることもないんじゃないかなと思ったので、一つそういう方法は、何とかもう少し決まる前に考えていただけたらありがたいと思う。

同じ谷津小学校の卒業生がかなりここに帰ってきているので、そういう意味でも、奏の杜ができたときは谷津にしようということで大変な問題になった。そういう経緯もあるので、話を十分皆様方に、地域の方あるいは実際に子供たち、これからかわりのある方たちに、広くこういう会合でいろんなお話をいただき、それで行政の方と一般の方たちが話し合い、そういうことで煮詰めていって、最終的にこうなったとなれば、皆さんもやっぱり100%納得はできない方もいると思うけれども、やっぱりある程度の方々が共通理解を得るという段階をもっと煮詰めてもいいんじゃないかなと。

質問者 きらっ子ルームに資料を置くだけでなく、アンケートとか意見も書けるようなそういう回収箱みたいなものを一緒に置いてもらいたい。

回答者 アンケートも、アンケート回収箱も置くようにする。

～閉会～